

『VIEW next』高校版・2024年度「発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践」授業デザインシート

【教科・科目】	数学B
【分野・単元】	統計的な推測 推定
【テーマ・作品】	
【設定時数】	全3時間
【単元の目標】	目的に応じて標本調査を設計することができる

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの配慮)	深い学び (教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	母平均の推定	信頼区間を理解し、母平均の推定が出来るようになる。	技能	標本平均の確率分布を復習したのち、信頼区間の内容を理解し、母平均の推定を行う。	標本平均、正規分布とのつながりをしっかりと理解させる説明を行う			授業内演習プリント
2	母比率の推定	標本比率の確率分布について理解し、母比率の推定が出来るようになる。	技能	標本比率が二項分布に近似的に従うことから、標準化できる流れを理解し、母比率の推定を行う。	標本比率と正規分布、大数の法則とのつながりをしっかりと理解させる説明を行う			授業内演習プリント
3	自分で標本調査を設計し、アンケートを作成する	目的に応じて標本調査を設計することが出来る	思考力	許容誤差の内容を理解し、自分が行っている探究活動と絡めたアンケート(標本調査)を作成し、発表する。	母比率の推定から、標本の大きさ(サンプル数)を考えられる理由を理解させる 個人で考えた内容をグループで共有させる	総合的な探究の時間のアンケートとして使えるものを考えさせる		授業内プリント